

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 30-002

PDCA	事務事業名	図書館資料整備事業	部課等名	教育部 図書館	担当	野不雄 会		
					内線等	23-7171		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第2節 生涯学習の推進						
		基本施策： 1. 生涯学習						
		単位施策： (4) 図書館の利用促進						
		個別施策： ②誰でも図書館を利用できる環境整備						
	根拠法令等	図書館法、半田市立図書館条例						
	対象・目的	図書館資料の利用を促進するため、資料の整備にあたっては、利用者のニーズや社会動向を把握する中で、司書が内容を確認し、充実を図っていく。						
	目的を達成するための手段・活動内容	図書館資料（書籍、視聴覚資料等）を司書が内容を確認したうえで購入する。窓口では貸出、返却の業務の他、本の相談（レファレンス）を積極的に行う。図書館だよりやホームページ、SNSなどで新着図書情報を公開し、予約を窓口の他にインターネットで受け付ける。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①資料購入実績		19,371	19,498	18,288	点	
		②蔵書点数		504,012	489,803	473,381	点	
		③貸出点数		1,064,960	1,041,592	1,018,227	点	
		④予約（リクエスト）件数		64,536	60,584	57,418	件	
		内、インターネット予約件数		40,576	38,964	38,300	件	
		事業費		30,368	31,713	31,434	千円	
		人件費		82,798	83,235	83,069	千円	
		総事業費		113,166	114,947	114,503	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
	①市民一人当たりの資料購入費		243	245	243	円		
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①市民一人当たりの貸出点数	実績値	8.9	8.7	8.5	点	
			目標値	8.9	9.0	9.0		
		実績値						
		目標値						
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		C						
		利用者にとって関心が高いテーマや時節に沿った特集コーナーを月毎に設置し、関連図書を紹介した。図書の購入に際しては、幅広い年齢層の利用者にとって魅力ある書棚となるよう、リクエストに応えながらの選書に努めた。また、HP、フェイスブック、ツイッターなどを利用して新着図書のほか、行事・講座等のPRを行い、市民向けの情報発信を強化した。今後も、図書館資料を充実させるとともに、利用しやすく親しみやすい読書環境の整備を図っていく必要がある。						
		今後の事業の方向性	改善推進					
			利用が少なくなった図書の閉架への移動やリサイクル、破損・汚損した図書の廃棄など、書棚を適切に整理し、本を手に取りやすくゆとりのある快適な読書環境をつくる。利用者のニーズに合った図書資料を整備するとともに、郷土資料の収集にも努め、地域情報の集約場所としての機能を維持する。図書館行事、博物館の展示、また市の事業に合わせた特集コーナーを設けるなど、他課とも連携しながら利用促進を図っていく。					
		令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
①市民一人当たりの貸出点数				8.9	点			